

# ガイドコンテンツ: モデル特性の把握

## 把握方法

モデル特性の把握においては、予測値と実測値の誤差を、複合的に評価する必要があります。  
特に、回帰問題においては、以下のような手法・尺度を用いて、モデル特性の把握を行うことが多いです。

- ① X軸に予測値、y軸に実測値を描画、上振れ/下振れ傾向を把握
  - これは最低限必要な基本確認となります
  - 必要に応じ、特定商品カテゴリごと等、より細かい粒度で傾向を確認することもあります
- ② 評価指標を用いてモデル精度を計算、パフォーマンスを把握
  - RMSE：一部の予測が大きくずれることがないかを確認
  - MAE：全般どの程度の精度を実現できているかを確認
  - $R^2$ ：実測値の傾向を予測モデルがどの程度捉えられているか（説明変数が目的変数をどの程度説明できているか）を確認

## (参考)① プロットイメージ

